

平成24年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	研究開発推進体制の整備		担当部局庁	情報通信国際戦略局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成4年～		担当課室	技術政策課		課長 田中 宏		
会計区分	一般会計		施策名	V-1情報通信技術の研究開発・標準化の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第75号		関係する計 画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定) 国の研究開発評価に関する大綱的指針(平成20年10月内閣総理大臣決定)等				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	高度なネットワーク社会の構築に欠かせない情報通信基盤の技術的向上及び持続的発展を目的とし、重点的に推進すべき研究開発課題の抽出やその実行にあたっての政策評価の実施等により、効率的・効果的に研究開発を推進する体制を整備する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	外部専門家及び産学官各界からの意見等を踏まえ、今後緊急かつ重点的に推進すべき新規研究テーマにおける課題の抽出及びその研究テーマの推進方策について調査・検討を行う。 また、法等に基づく政策評価を、外部専門家等による研究開発評価により適切に実施する。併せて、過年度終了研究開発に関する追跡調査の実施及び研究開発成果の公表・展開を図るための成果発表会を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	27	20	20	22	22	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	27	20	20	22	22	
	執行額	16	16	20				
	執行率(%)	59.3%	80.0%	100.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本施策は個々の研究開発プロジェクトについて所要の外部評価を行うものであるため、具体的に数値で示す成果目標を設定するのが困難。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	当該年度に事前評価、基本計画書の審査、採択評価、継続評価(中間評価)、終了評価、追跡評価を行っている研究開発課題の件数(のべ件数)		活動実績 (当初見込み)		36	41	54 (30)	- (41)
単位当たり コスト	(0.4百万円/件数) プロジェクト1件当たりのコスト		算出根拠	評価に係る費用/プロジェクト件数 〔執行額(20百万円)÷プロジェクト件数(54)〕				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	3	3					
	職員旅費	4	2					
	委員等旅費	2	2					
	電気通信技術研究開発調査費	13	15					
	計	22	22					

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国の国際競争力の強化、国民の安心・安全の確保、地球温暖化対策等に資する情報通信分野の研究開発を効果的・効率的に実施するため、重点的に推進すべき研究開発課題の抽出及び「国の研究開発評価に関する大綱的指針」に則り研究開発評価等を実施することを目的としており、国が責任を持って実施すべき優先度の高い事業であると言える。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業の実施にあたっては、優れた提案を採択する企画競争方式を採用しており、その競争性を担保している。 また、経費の執行にあたっては、外部専門家・外部有識者から構成される「情報通信技術の研究開発の評価に関する会合」を開催する際は、一度の会合で複数の目的を持った研究開発課題の評価を行い、外部有識者への諸謝金、委員等旅費を効率的に執行するなど、経費の執行の効率性・適正性を確保することとしている。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	外部専門家・外部有識者から構成される「情報通信技術の研究開発の評価に関する会合」及びその下に設けられた評価検討会において、本研究開発の必要性、技術の妥当性、実施体制の妥当性、予算額の妥当性等について外部評価を実施しており、評価結果については研究開発実施者に対してフィードバックを行っており、研究開発の効果的な進め方や、終了後の研究成果展開の改善等に活用されている。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名		—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	○調査研究については、総合評価落札方式を採用し、調査能力を多面的に勘案して、受託者を選定している。			
	○研究開発の効果的な進め方や、終了後の研究成果展開の改善等に活用されている。			
	○外部専門家・外部有識者から構成される「情報通信技術の研究開発の評価に関する会合」においては、研究開発評価の公正性、中立性を保つために、構成員の交代を行う等評価体制の見直しを行った。			
予算監視・効率化チームの所見				
一部改善	統合した「情報通信分野の研究開発に関する調査研究」の中で、更なる経費の効率化を図るべき。			
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	「情報通信分野の研究開発に関する調査研究」との統合を行い、経費の効率的執行を行える体制を整備。 また、調査項目について、より優先度の高いものに絞るなど、要求内容の見直しを実施。			
	補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	0037	平成23年行政事業レビュー	0049	

総務省
20百万円

我が国の国際競争力の強化、国民の安心・安全の確保、地球温暖化対策等に資する情報通信分野の研究開発を効果的・効率的に実施するため、重点的に推進すべき研究開発課題の抽出及び政策評価等を実施する。

【一般競争入札 87.9%】
応札数:1社

A.(株)三菱総合研究所
13百万円

情報通信分野に関する研究開発の評価方法について国内外の制度等の調査を行うとともに、国内外の重点的国際共同研究開発テーマ調査等を行う。

【一般競争入札 99.3%】
応札数:6社

B.(株)ヒップ
4百万円

「フォトニックネットワークに関するシンポジウム」に関する運営事務等を実施。

【諸謝金、委員等旅費】

C.情報通信技術の研究開発の評価に関する会合等
(外部有識者43名)
3百万円

研究開発施策の実施にあたり、法等に基づく政策評価を、外部有識者・外部専門家による研究開発評価により適切に実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)三菱総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究者及び研究補助員	13			
計		13	計		0
B.(株)ヒップ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究者及び研究補助員	4			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	会議開催経費(謝金、委員等旅費)	3			
計		3	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	情報通信分野に関する研究開発の評価方法等について調査	13	1	87.9
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ヒップ	「フットニクネットワークに関するシンポジウム」に関する運営事務	4	6	99.3
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	構成員A	外部有識者・外部専門家による研究開発評価	0.4	—	—
2	構成員B	外部有識者・外部専門家による研究開発評価	0.2	—	—
3	構成員C	外部有識者・外部専門家による研究開発評価	0.2	—	—
4	構成員D	外部有識者・外部専門家による研究開発評価	0.2	—	—
5	構成員E	外部有識者・外部専門家による研究開発評価	0.2	—	—
6	構成員F	外部有識者・外部専門家による研究開発評価	0.1	—	—
7	構成員G	外部有識者・外部専門家による研究開発評価	0.1	—	—
8	構成員H	外部有識者・外部専門家による研究開発評価	0.1	—	—
9	構成員I	外部有識者・外部専門家による研究開発評価	0.1	—	—
10	構成員J	外部有識者・外部専門家による研究開発評価	0.1	—	—